

平成28年度 第3回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成28年6月16日(木) 午後1時30分～午後3時05分
- 2 場 所 下野市役所3階 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長 永山伸一
職務代理者 三橋明美
委員 熊田裕子
委員 石嶋和夫
教育長 池澤勤
- 4 出席職員 教育次長 野澤 等
教育総務課長 坪山 仁
学校教育課長 海老原忠
生涯学習文化課長 増淵晴美
スポーツ振興課長 北條 均
教育総務課課長補佐 伊澤仁一
教育総務課主幹 古橋栄一
- 5 傍聴人 2名
- 6 議 案
議案第19号 下野市就学支援委員会委員の委嘱について
議案第20号 下野市就学支援委員会への諮問について
議案第21号 南河内中学校区小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について
議案第22号 下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について
議案第23号 下野市文化財保護審議会委員の委嘱について
議案第24号 下野市歴史文化基本構想策定検討委員会委員の委嘱について
- 7 協議事項
(1) 南河内中学校区小中一貫教育推進協議会への諮問について
- 8 報告事項
(1) 教育委員会後援等の承認について
(2) 寄附の受け入れについて
(3) 平成28年度春季中学校体育大会(県大会)の結果報告について
- 9 その他
(1) 平成28年度下野市教職員合同全体研修会の開催について
(2) 平成28年度自治医科大学公開講座について
(3) 下野市まちづくりリクエスト講座2016について

永山委員長	あいさつ 議事録署名委員の指名 三橋委員及び熊田委員 前回議事録の承認について、議事録の確認をお願いする。訂正等があれば発言を求める。
熊田委員	10頁の下段において、私の発言に対する回答をした方の氏名が漏れているので、追加していただきたい。
古橋教育総務課主幹 永山委員長	野澤教育次長の発言であるので、ご指摘の箇所は追加させていただく。 他に質疑等はあるか。(特になし) それでは、先ほどの箇所を訂正した上で、議事録を承認してよろしいか。 (全委員承認)
池澤教育長	次に、教育長の報告を求める。 ・ 5月21日に石橋北小学校と細谷小学校の運動会が実施された。 ・ 5月24日に平成28年度第1回グリムの里いしばし評議会がグリムの館で開催され、伊澤敬一郎氏に代わり伊沢勝彦氏が理事長として就任することが決定した。 ・ 5月26日に学校給食食物アレルギー対応委員会及び教科書選定委員会が開催された。教科書選定委員として、熊田委員にも参出席いただいた。 ・ 5月27日に八王子にて関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会が開催され、委員とともに参加した。次回の開催地は、神奈川県となっている。 ・ 5月28日に市内小中学校7校(石橋小、古山小、国分寺小、国分寺東小、祇園小、緑小、南河内中)で運動会及び体育祭が実施された。 ・ 平成28年第2回下野市議会定例会が6月1日から6月15日にかけて行われた。 ・ 6月11日に小山市文化センター小ホールにて、部落解放愛する会栃木県連合会の第41回定期大会が開催された。 ・ 6月13日に下野市中学生平和研修派遣選考委員会が開催され、29名の応募の中から8名を派遣者として決定した。今年度も壬生中学校と合同で参加する予定である。
永山委員長	質疑等はあるか。(特になし) 議事に入る旨を伝える。 今回の議案を見ると、議案第19号、21号、23号、24号は人事案件であることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。
各委員 永山委員長	全委員異議なし。 それでは非公開で行うこととする。 なお、非公開の議案を先に審議してから、非公開を解き、議案第20号と議案第22号に入っていきたいと思うがよろしいか。(全委員承認) 非公開議案から進めていくため、傍聴人の方は一旦退席をお願いしたい。 それでは、議案第19号「下野市就学支援委員会委員の委嘱について」説

海老原学校教育課長	<p>明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>下野市就学支援委員会条例第3条の規定により、新任10名、再任4名の計14名の委員を委嘱するものである。委員の任期は2年で、委嘱期間は委嘱の日から平成30年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開</p>
永山委員長	<p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認）</p> <p>議案第19号は原案どおり決定する。</p> <p>次に、議案第21号「南河内中学校区小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について」説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>南河内中学校区小中一貫教育推進協議会設置要綱第3条の規定により、15名の委員を委嘱するものである。委員の任期は5年、委嘱期間は委嘱の日から平成33年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開</p>
永山委員長	<p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認）</p> <p>議案第21号は原案どおり決定する。</p> <p>続いて、議案第23号「下野市文化財保護審議会委員の委嘱について」説明を求める。</p>
増渕生涯学習文化課長	<p>【説明要旨】</p> <p>下野市文化財保護条例施行規則第22条第2項の規定により、新任1名、再任5名の計6名の委員を委嘱するものである。委員の任期は2年、委嘱期間は、委嘱の日から平成30年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開</p>
永山委員長	<p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認）</p> <p>議案第23号は原案どおり決定する</p> <p>次に、議案第24号「下野市歴史文化基本構想策定検討委員会委員の委嘱について」説明を求める。</p>
増渕生涯学習文化課長	<p>【説明要旨】</p> <p>下野市歴史文化基本構想策定検討委員会設置要綱第3条第2項の規定により、職員の人事異動に伴い、新たに3名を委員として委嘱するものである。委嘱期間は、委嘱の日から平成29年3月31日まで。</p> <p>以下、非公開</p>

<p>永山委員長</p>	<p>このとおり決定してよろしいか。(全委員承認) 議案第24号は原案どおり決定する。 ここで、会議の非公開を解く。(傍聴人の方に入室していただく。) 次に、議案第20号「下野市就学支援委員会への諮問について」説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】 下野市就学支援委員会条例第2条の規定により、平成29年度の就学予定児や在籍児童生徒の中で、特別な支援が必要と思われる者の就学支援及び教育措置について、別紙のとおり教育委員会が下野市就学支援委員会へ諮問を行うものである。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>以下、諮問の趣旨について説明を行う。 質疑等はあるか。(特になし) このとおり決定してよろしいか。(全委員承認) 議案第20号は原案どおり決定する。 続いて、議案第22号「下野市文化財有償刊行物取扱要綱の一部改正について」説明を求める。</p>
<p>増渚生涯学習文化課長</p>	<p>【説明要旨】 当該要綱における別表(第2条関係)に「ミニタオルセット」「粘土キット」等を新たに加えるとともに、名称の変更、価格改定を行うため、要綱の一部改を行うものである。新たに作成した物品は、7月からしもつけ風土記の丘資料館において市民の方に販売をしていく予定である。 当該要綱は公布の日から施行する。</p>
<p>永山委員長 石嶋委員</p>	<p>質疑等はあるか。 今回は、新たに販売するものを当該要綱の表に入れるための改正ということではよろしいか。</p>
<p>増渚生涯学習文化課長</p>	<p>新たに販売するものに加え、手ぬぐいやバッジ、しおりに付していた固有名詞を削除し、今後種類が増えても対応できるよう名称の変更を行い、さらにしおりの価格改定を行うものである。</p>
<p>熊田委員</p>	<p>新たに刊行物を追加するのは、これまでの売り上げが良かったからだと思うが、実際の販売状況はどうなっているのか。</p>
<p>増渚生涯学習文化課</p>	<p>売り上げは良好であり、しおりについては今回2,000部ほど増刷したところである。</p>
<p>永山委員長 増渚生涯学習文化課長</p>	<p>そのしおりはどこで設置・販売しているのか。 下野薬師寺歴史館やしもつけ風土記の丘資料館において設置・販売している。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。(特になし) 次に協議事項に移ることを告げる。 (1) 南河内中学校区小中一貫教育推進協議会への諮問について説明を求める。</p>

海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>南河内中学校区小中一貫教育協議会を設置するにあたり、当該協議会設置要綱第2条の規定に基づき、市長から当該協議会会長に渡す諮問について協議をお願いするものである。諮問事項については、「1 義務教育学校導入の効果等の検証」、「2 南河内中学校区の望ましい学校配置・教育の在り方について」の2点となっている。お手元の資料の裏面には、諮問理由を（案）として記載させていただいたので、内容のご検討をいただきたい。</p>
永山委員長 石嶋委員	<p>以下、諮問理由（案）の内容について説明を行う。</p> <p>質疑等はあるか。</p> <p>6行目からの「小規模校が4校あり、これらの小学校では、児童数や教職員数が少ないことから、人間関係の希薄化…」とあるが、人数が少なければ逆に親密になると思う。人間関係が限定してしまうため、多様な人間への対応力がなくなるという心配はあると思うが、「希薄化」という表現は、小規模校の説明としてはそぐわないのではないか。</p> <p>また、「児童同士の関わりにおいても、支え合い、はげまし合いなどによって育まれる社会性の不足」とあるが、「支え合い」や「はげまし合い」は、人数が少なくても十分にできるものだと思う。</p> <p>したがって、多様な人と接し、多様な人と人間関係を築いていく面で心配であるというニュアンスの文章にした方が、小規模校の現状と目指すべき社会性を表現できるのではないか。</p>
海老原学校教育課長	<p>「希薄化」については、人間関係の幅が広いものではなく、限定されてしまうという意味合いで使わせていただいた。</p>
永山委員長	<p>石嶋委員が指摘したように、大きな団体の中にいる方が、人間関係が希薄化すると思う。</p>
池澤教育長	<p>委員ご指摘のとおり、少ない集団の中での人間関係は濃密になり、深い絆が結ばれると思う。しかし、限定された集団の中での人間関係は、様々な人と関わりをもつ経験が少なくなってしまうことから、「希薄化」という表現を使わせていただいた。固定化した集団の中での生活は、より大きな社会に出た場合、人間関係を上手く構築することができるのか心配だという考えが根底にある。</p>
永山委員長	<p>希薄化については、「多様性を欠き」というような表現に直した方が、誤解のない文章になると思う。</p>
熊田委員	<p>文章表現の問題だと思うので、委員長ご指摘のとおり、「多様性を欠く」としたり、限定された集団であれば、固定化と似ているが「限定化」に表現を変えてみてはどうか。</p>
永山委員長	<p>「人間関係の」続きを「固定化」、「限定化」と直し、「児童同士の関わりにおいても、」の続きを「多様性を欠き、社会性の不足など」とつなげてみてはどうか。</p> <p>最初にご指摘をした石嶋委員ならば、ここはどのような表現がよろしいと思うか。</p>

石嶋委員	<p>諮問であるので、問題点を書かなければならないと思うが、表現としては「これは不十分である」や「このような点をもっと伸ばしたい」とした方が良いと思う。「欠如している」や「不足している」というネガティブ表現だと、今やっていることがだめなのではないかと否定的に受け取られてしまう恐れがある。これまで頑張ってきたことを認めつつ、「このようにすればもっと子どもたちの能力を発揮できる」などの書き方をしてみてもどうか。</p>
池澤教育長	<p>現状や懸念されることは、はっきりと述べた方が分かりやすい。限られた集団での生活には良いところもあると思うが、その環境がその子どもたちにとって、最善であるとは言い難いところもあるので、最も望ましい環境を作っていきたい。</p> <p>小規模校を考える場合、今年度は新入生がゼロという学校も出てきてしまい、また、修学旅行なども引率を含め6名（児童3名）で実施している現状がある。このような課題を正面から捉えていかなければならないと思う。</p>
石嶋委員	<p>ここの表現は、「人間関係の固定化や学習活動の制限など、豊かな社会性を育む上で妨げとなっています。」としてみてもどうか。元の文章を見ると、「支え合い、はげまし合いなどによって育まれる社会性の不足」となっており、支え合い、はげまし合いが行われていないのではないかとと思われる恐れがある。</p>
池澤教育長	<p>確かに石嶋委員のご指摘のとおり、修正した方がよろしいかと思う。</p>
三橋委員	<p>もう1点気になるところがある。「下野市においては、児童数が80人以下の小規模校4校ある」という記述はあり、これは市全体の状況を示しているが、この諮問は「南河内中学校区」に限定した内容であるので、南河内中学校区にある小学校が4校とも80人以下であると勘違いされてしまう恐れがある。</p>
熊田委員	<p>私も三橋委員のご指摘と同じことを考えていた。</p>
三橋委員	<p>「このうちの2校は南河内中学校区にある小学校である」と補足説明をした方が良いと思う。</p>
永山委員長	<p>この諮問書は南河内中学校区のみの内容だと思うので、「下野市においては」ではなく、「南河内中学校区においても」と、限定してみてもどうか。</p>
熊田委員	<p>さらに言えば、なぜ南河内中学校区なのかという理由についても入れ込んだ方が分かりやすいのではないか。</p>
池澤教育長	<p>この部分は「下野市学校適正配置計画」の中で、南河内中学校区のこととして記述されており、この計画を前提として諮問理由を作成している。ここでは、一般論として下野市全体では、80人以下の学校は4校あるという現状を述べているので、南河内中学校区に限定しなくても良いのではないか。</p>
石嶋委員	<p>諮問事項の2にのみ「南河内中学校区」と入っているが、当該諮問書は南河内中学校区限定であるということなので、1の頭にも「南河内中学校区」とした方が良いと思う。</p>
熊田委員	<p>確かに諮問事項の2で「南河内中学校区」と書かれていると、1は下野市全体のことを述べていると勘違いしてしまうと思う。</p>

池澤教育長	この諮問事項は、両方とも南河内中学校区限定であるので、2の「南河内中学校区」を削除してはどうか。
熊田委員	ご指摘のとおりに修正した方が分かりやすいと思う。
池澤教育長	それでは、先に三橋委員がご指摘した「下野市においては、児童数が80人以下の小規模校4校ある」という表現についてはどうしたらよいか。
石嶋委員	全体として、学校現場で起こっている一般論的な問題から入り、下野市の現状から南河内中学校区の課題への絞っていくような構成となっているので、このままでも差し支えないと思う。
永山委員長	ここで一度、諮問理由（案）について、先ほどの協議を踏まえた上で修正をしていただき、最後にまた協議をしていきたいと思うがよろしいか。（全委員承認）
	それでは、ここで海老原学校教育課長に、修正したものを作成していただく。（海老原学校教育課長は一度退席）
	次に報告事項に移ることを告げる。
	(1) 教育委員会後援等の承認について説明を求める。
坪山教育総務課長	【説明要旨】 「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、6月現在で3件の承認をした旨の報告を行う。2件が後援、1件が共催であり、3件すべて前年度実績のある事業である。
	以下、承認をした行事内容等について説明を行う。
永山委員長	質疑等はあるか。（特になし）
	続いて（2）寄附の受け入れについて説明を求める。
坪山教育総務課長	【説明要旨】 お手元の資料のとおり、市内在住の方から結城紬の機織り機をいただいた。今後は、しもつけ風土記の丘資料館に設置し、活用させていただく予定である。
永山委員長	質疑等はあるか。
	風土記の丘資料館に設置するというのは、寄贈者の希望なのか。
野澤教育次長	特に指定はなかったが、機織り機を運搬するのに解体してしまうと、組み立てが困難となるため、そのままの状態を設置できるスペースを考慮すると、しもつけ風土記の丘資料館が最も適していると考えている。
永山委員長	他に質疑等はあるか。（特になし）
	ここで、報告事項は中途になるが、海老原学校教育課長が諮問書（案）の修正ができたので、協議事項を再開したい。
	それでは、海老原学校教育課長より修正した箇所の説明を求める。
海老原学校教育課長	【説明要旨】 以下のとおり、修正箇所を読み上げ、内容について説明を行う。 「これらの課題に加え、下野市においては、現在、児童数が80人以下の小規模校が4校あり、これらの小学校では、児童数や教職員数が少ないことによる人間関係の固定化や学習活動の制限など、児童が豊かな社会性を育む

<p>永山委員長 石嶋委員</p>	<p>上での妨げとなっております。」 質疑等はあるか。 修正内容については、これで良いと思う。文章中の「てにをは」等については、全体を見ながら修正を一任したい。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。（特になし） それでは、再度報告事項の続きに戻りたい。 報告事項（３）平成２８年度春季中学校体育大会（県大会）の結果報告について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】 平成２８年度中学校春季体育大会の結果について、成績一覧表に基づき、各学校ごとの戦績について報告を行う。地区大会の結果については、前回の定例会で報告済みのため、今回は県大会の結果について説明を行う。表における水泳の箇所は空欄になっているが、大会が７月８日、９日に行われるので、後日報告させていただきたい。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。（特になし） 続いて、その他に移ることを告げる。 （１）平成２８年度下野市教職員合同全体研修会の開催について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】 平成２８年度下野市教職員合同全体研修会について開催日時、会場、講演内容等について説明を行う。今年はグリムの館において、宇都宮大学特任准教授の石嶋和夫氏による講演を行う。（演題は「子どもたちに効果的な支援を行うために」～反省的思考を通して～）</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。（特になし） 次に、（２）平成２８年度自治医科大学公開講座について説明を求める。</p>
<p>増渕生涯学習文化課長</p>	<p>【説明要旨】 平成２８年度自治医科大学校公開講座における募集状況について説明を行う。既に、平成２８年度版「生涯学習情報誌エール」に日程等を掲載し、早い段階から周知を行っており、現在、自治医科大学側と生涯学習文化課の申込者数は合わせて６０１名である。募集定員は５００名となっているが、会場は７００名程が入場可能ということで、定員を大きく超えている。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>質疑等はあるか。 昨年度に比べて、参加者は多くなりそうか。</p>
<p>増渕生涯学習文化課長</p>	<p>昨年度の参加者延べ人数は２，５３３名であり、前回の申込者数を超えているので、かなりの参加者を見込んでいる。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>他に質疑等はあるか。（特になし） 続いて、（３）下野市まちづくりリクエスト講座２０１６について説明を求める。</p>
<p>増渕生涯学習文化課長</p>	<p>【説明要旨】 今年度作成した「下野市まちづくりリクエスト講座２０１６」のパンフレ</p>

永山委員長	ットに基づき、行政各課で担当する講座内容等について概要説明を行う。 質疑等はあるか。
増淵生涯学習文化課長	人気の講座というものはあるのか。 担当課である高齢福祉課から介護保険や障害年金などについて詳しく聞きたいとの要望が寄せられていると聞いている。
永山委員長	当該講座は何年前から行っているものなのか。
増淵生涯学習文化課長	3年前から実施しているが、このように簡易なパンフレット様式にしたのは昨年度からである。
熊田委員	講座を受講したことがあるが、分かりやすい内容であったので、すべての講座においても良いプレゼンになるよう研鑽されることを期待している。
永山委員長	周知にあたってはパンフレットに加え、広報等も有効に使っていただきたい。
熊田委員	他に質疑等はあるか。(特になし) それでは、委員の皆さんから報告等があればお願いします。
熊田委員	前回の教育委員会で制服のリサイクルの話をしたところであるが、生徒数が少なくなり、要望者が減ってしまっている状況である。せっかくの取組であるので、もっとリサイクルの話が広まっていれば良いと考えている。
永山委員長	素晴らしい取組なので、引き続き、制服リサイクルの状況については教育委員会の方にも情報提供をいただきたいと思う。
三橋委員	他に質疑等はあるか。 南河内第二中学校において、毎週水曜日の部活動が休止になったことは聞いていたが、国分寺中学校のバドミントン部でも毎週水曜日が休みになり、大会前みの練習になっていることを聞いた。下野市では、統一して中学校の部活動の休止日を決めているのか。
海老原学校教育課長	統一は行っておらず、学校独自で決めているところである。部活動の定期的な休みを設定していない学校もある。
永山委員長	部活動は現在、全国的に過熱化しているのではないかと議論になっているところである。今後、学校に関して何か動きがあれば、随時報告していただきたいと思う。
古橋教育総務課主幹	他に質疑等はあるか。(特になし) 最後に、事務局より連絡事項等があれば説明を求める。 7月4日と7月13日に実施する教育委員会の学校訪問についての出欠や集合時間等の確認を行う。また、7月7日に開催される学事視察についての交通手段等の確認を行う。
永山委員長	質疑等はあるか。(特になし) 次回の教育委員会は下野市役所庁舎3階303会議室にて7月15日(金)の午後1時30分の予定とする。 本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後3時5分閉会。